

大野市南六呂師神明山で採集された昆虫類

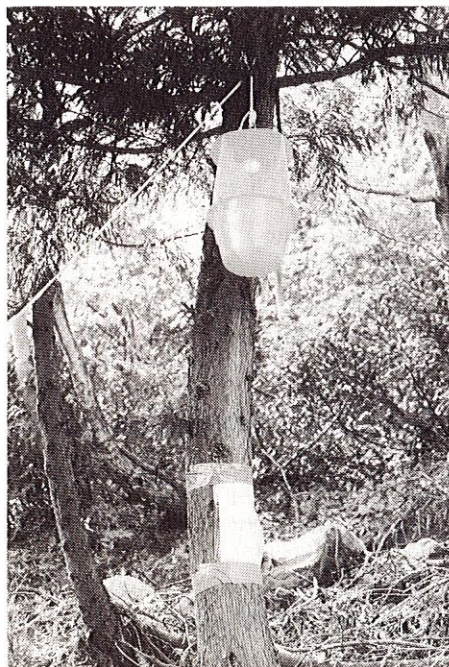
井上重紀¹

近年、スギノアカネトラカミキリ *Anaglyptus subfasciatus* によるスギ *Cryptomeria japonica* への被害が拡大している。福井県では遠敷郡名田庄村での分布が確認されているが、全県的な調査は為されていない。今回、大野市と勝山市にまたがる六呂師高原にある神明山でスギノアカネトラカミキリも含めた昆虫類を採集する機会を得た。そこで、予報的データではあるが結果を報告する。

この調査を進めるに当たり、賛同された福井県自然保護センターの当時の井上清一氏、白崎良昭氏および、誘引器の保守と採集昆虫の回収を快く引き受けて頂いた松村俊幸氏に心から感謝する。採集したハチ類については、福井昆虫研究会の羽田義任氏に同定をお願いした。併せて感謝する。

採集器具と調査方法

調査は、1991年5月1日～7月12日まで福井県大野市南六呂師の神明山（36° 1'N, 136° 35'E, 標高596m）で行なった。昆虫類を採集するために、固化メチルフェニール



アセテートを誘引剤とした昆虫誘引器（サンケイ化学）を用いた（写真1）。昆虫誘引器の受皿には防腐剤としてソルビン酸と逃避防止として洗剤を水に混合した。誘引器の設置場所は、この調査の目的からスギ林と広葉樹林に接するスギ立木に設置した。このことは、昆虫相に多少の影響を与えていることになると考えられ、更に設置場所を変更して調査する必要があった。約10日毎に回収し同定した。採集された昆虫類の同定と命名は原色日本甲虫図鑑（1984）にならったが、すべてを同定することはできなかった。筆者の力量不足もあるが、トラップの特徴から特に鱗翅目の昆虫は傷みがひどく同定が困難であった。

写真1. 使用したトラップ。
Photol.A trap for collecting insects.

結果と考察

今回採集し同定できた昆虫類は、半翅目2種、膜翅目11種、甲虫目28種であった(表1)。甲虫類において、同じ六呂師高原にあり調査地から1.8kmしか離れていない池ヶ原湿原での採集記録(高井 1989)と比較すると共通種が無かった。今回、誘引剤として使用した固化メチルフェニールアセテートはスギノアカネトラカミキリ *Anaglyptus subfasciatus* Picを採集するために開発されており、特にトゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* Batesにおいてはオーダーが1ランク高い誘引効果があるといわれている。しかし、種によっては忌避効果として働いたために採集されなかった結果かもしれない。

表1. 大野市南六呂師神明山で採集された昆虫類リスト。

Table 1. List of insect species collected on Shinmei Hill in Rokuroshi Highland, Fukui.

種 Species	学名 Scientific name
半翅目	セアカツノカメムシ <i>Acanthosoma denticauda</i> Jakovlev
	ハルゼミ <i>Terpnosia vacua</i> Olivier
膜翅目	ニカコツチバチ <i>Tiphia</i> (<i>Tiphia</i>) <i>sternata</i> Parker
	クロオオアリ(女王) <i>Camponotus japonicus</i> Mayr
	トゲアシオオベッコウ <i>Priocnemis</i> (<i>Umberpennis</i>) <i>irritabilis</i> Smith
	キボシアシナガバチ <i>Polistes mandarinus</i> Saussure
	マダラアシマエダテバチ <i>Psenulus maculipes</i> Tsuneki
	シオカワコハナバチ <i>Lasioglossum</i> (<i>Evylaeus</i>) <i>baleicum</i> (Cockerell)
	チビコハナバチの一種 <i>Lasioglossum</i> (<i>Evylaeus</i>) sp.18
	チビコハナバチの一種 <i>Lasioglossum</i> (<i>Evylaeus</i>) sp.H-8
	ツヤコハナバチの一種 <i>Lasioglossum</i> (<i>lasioglossum</i>) sp.6
	サビイロカタコハナバチ <i>Lasioglossum</i> (<i>Lasioglossum</i>) <i>mutilum</i> (Vachal)
	ツヤマメヒメハナバチ <i>Andrena</i> (<i>Micrandrena</i>) <i>sublevigata</i> Hirashima
甲虫目	ヒゲナガビロードコガネ <i>Serica boops</i> Waterhouse
	オオヒラタハナムグリ <i>Charitovalgus fumosus</i> Lewis
	ヒラタハナムグリ <i>Nipponovalgus angusticollis</i> Waterhouse
	アオハナムグリ <i>Cetonia roelofsi</i> Harold
	コアオハナムグリ <i>Oxycetonia jucunda</i> Faldermann
	ツヤケシハナカミキリ <i>Anastrangalia scotodes</i> (Bates)
	カッコウメダカカミキリ <i>Stenhomalus cleroides</i> Bates
	エグリトラカミキリ <i>Chlorophorus japonicus</i> (Chevrolat)
	シラケトラカミキリ <i>Clytus melaenus</i> Bates
	ヒメクロトラカミキリ <i>Rhaphuma diminuta</i> (Bates)
	トゲヒゲトラカミキリ <i>Demonax transilis</i> Bates
	スギノアカネトラカミキリ <i>Anaglyptus subfasciatus</i> Pic
	シロトラカミキリ <i>Paraclytus excultus</i> Bates
	キボシカミキリ <i>Psacotha hilaris</i> (Pascoe)
	シラホシカミキリ <i>Glenea relictia</i> Pascoe
	キアシルリツツハムシ <i>Cryptocephalus fortunatus</i> Baly
	ムシクソハムシ <i>Chlamisus spilotus</i> (Baly)
	ヒゲナガマルノミハムシ <i>Hemipyxis plagioderoides</i> (Motschulsky)
	キスジヒゲナガゾウムシ <i>Aphaulimia debilis</i> (Sharp)
	ベニホシハマキチョッキリ <i>Byctiscus puberulus regalis</i> (Roelofs)
	イタヤハマキチョッキリ <i>Byctiscus venustus</i> (Pascoe)
	ルイスアシナガオトシブミ <i>Henicolabus lewisii</i> Sharp
	リンゴコフキゾウムシ <i>Phyllobius armatus</i> (Roelofs)
	ヒラズネヒゲボソゾウムシ <i>Phyllobius intrusus</i> Kono
	コヒゲボソゾウムシ <i>Phyllobius brevitaris</i> (Kono)
	アカアシノミゾウムシ <i>Rhynchaenus sanguinipes</i> (Roelofs)
	クワササラゾウムシ <i>Demimaia mori</i> (Kono)
	ジュウジコブサルゾウムシ <i>Craponius bigibbosus</i> Hustache

計 3目41種

今回、キボシカミキリ *Psacotha hilaris* (Pascoe) やクワササラゾウムシ *Demimaema mori* (Kono) も採集された。これらの種はクワの害虫として知られているが、カイコ産業の衰退でクワ畑が放置され管理がゆき届いていないために増えているのかもしれない。多数採集されたツヤケシハナカミキリ *Anastrangalia scotodes* (Bates) は、固化化メチルフェニルアセテートで効率よく捕獲される種である。そのため、この種の日本での分布が広く確認されている。カッコウメダカカミキリ *Stenhomalus cleroides* Bates は、1976年に敦賀市池ノ河内での記録があるが（福井県自然環境調査研究会昆虫部会 1985）、今回の採集が福井県で2例目の記録である。

この実験に使った誘引剤、トラップは訪花性を主眼として開発された装置であるため、当然その範囲での昆虫類が主なものとなった。この期間の同所における開花との比較をすると更に興味ある結果が得られたと考えられる。

引用文献

- 福井県自然環境調査研究会昆虫部会. 1985. 福井県昆虫目録. 福井県. 404pp.
 林匡夫・森本桂・木元新作. 1984. 原色日本甲虫図鑑 IV. 保育社. 大阪. 438pp.
 高井泰. 1989. 大野市池ヶ原で採集した甲虫類. 福井虫報 No.5:35-39.
 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝. 1984. 原色日本甲虫図鑑 II. 保育社. 大阪. 514pp.

1. 福井県総合グリーンセンター. 〒910-02 福井県坂井郡丸岡町楽間

Some species of insects collected on Shinmei Hill in Rokuroshi Highland

Shigenori Inoue¹

The distributions of some insect species were studied on Shinmei Hill in Rokuroshi Highland, Fukui from 1 May to 12 July, 1991. A total of 41 species of three orders was recorded by trap captures using solid methyl-phenyl-acetate.

1. Fukui-Pref. General Green Center. Rakuma, Maruoka-cho, Sakai-gun, Fukui 910-02

